

明治二十五年（一八九二）

濱野弥右衛門忠義追悼文

※個人蔵

【翻刻】

当家十三世濱野弥右衛門忠義在世ノ行状・勤功・仁義等別書卷冊類ニ委シ、同氏

常々古語ヲ信シ龜ハ首尾手足ノ六ツヲ甲中ニ蔵クシテ獺ノ口ヲ免カレシト云ヘル忍徳ヲ

深ク守リ、自カラ蔵六軒ト家号ニ呼ハセ、又勤徳ニヨリ官賞六度ニ及ヘハ

賞六斎トモ号シ、歌画ノ風流ヲモ嗜ミテ楽山ト銘セリ

猶亦遠近歩行ノ節ハ県官ヨリ讓ラレシ洋帽ヲ

頂キテ其恩ヲ謝シ、杖ニハ自刻ノ守書アリ、

其文歌ニ曰ク、上へ詔ハス下へ泥マス

職務全フスルヲ旨トス、

歌ニハ心たに誠の

道を歩行ミなハ

杖もろともに

力あハするト記セリ、

翁ノ葬式ニハ寺院ニモ其徳ヲ讃シテ

仁寿院ノ法号ヲ贈レリ、翁一世本末ノ

愛度キコト県下郡邸中ニ対シテ後談ノ一奇人ト云フヘシ、

今孫氏ノ需ニ応シ、余拙筆ヲ顧ミス其要ヲ摘ミ文図略筆ニモノシ、

聊カ讃語ヲ加ヘテ当家永続ノ座額ヲ整ふることしかり

印

同氏孫

蔵六功名万々年

賞文舎 楽志

もとむ

蔵くしたる六ツのかたちをあらハして

うかむ濱野の亀のぬし哉

浅草住

明治廿五年十一月額成

倉田賛人補毫印

印